



姫路市教育大綱

令和7年（2025年）3月

はじめに

令和2年に姫路市教育大綱を策定して以来、我が国全体で従来の予想を遥かに上回るスピードで少子化が進み、本市においては大都市圏への若者の流出も重なって、人口減少が加速しています。また、不安定化する国際情勢やグローバル化の進展、生成AIに象徴される技術革新など、社会経済情勢が目まぐるしく変化している中、いじめや不登校、貧困など子どもたちを取り巻く課題は多様化・複雑化しており、対策は待ったなしの状況です。

本市に暮らし、本市で学ぶ一人ひとりが、予測困難な時代を生き抜く力を身に付けていくこと。誰もが取り残されず、幸せや生きがいを実感するとともに、社会全体が豊かさを感じられるものとなること。これらを実現していくためには、本市の教育のあり方を常に見直し、時代に即したものにアップデートし続けなければなりません。こうした観点から、このたび、第3期姫路市教育振興基本計画及び姫路市こども計画の策定に合わせて、姫路市教育大綱を改定することとしました。

教育基本法第1条では、教育の目的を「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と規定しています。平和で民主的な社会の実現は、「人」にしかできません。まさに活力を生み、明るい未来を切り拓く原動力が「人」であることは、いかに技術革新が起きようとも、いつの時代においても変わることのない社会の根幹です。

姫路市教育大綱では、こうした確たる想いのもと、本市の「人づくり」の指針として、5つの基本方針を掲げました。これらの基本方針を実現するためには、行政、教育機関、地域、企業・団体、家庭、そして個人といった、社会を構成するあらゆる主体が連携し、実践を積み上げていくことが不可欠です。

長きにわたるコロナ禍は、人と人とのつながりの重要性を再認識する大きな契機となりました。本市ならではの地域の絆をたいせつに、互いを尊重しながら、すべての人が生き生きと学び、ともに生きる社会の実現を目指し、ふるさと姫路の未来を拓く「人づくり」の羅針盤として、新たな教育大綱をここに定めます。

令和7年(2025年)3月

姫路市長

清元秀泰



○ 教育大綱について

教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において協議の上、市長が市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

本市においては、最上位の計画である姫路市総合計画の下、姫路市こども計画や姫路市教育振興基本計画等の各分野の個別計画との整合性を図りながら策定するものと位置付けています。



○ 5つの基本方針

- I 多様な学びを通じて、子どもたちの生きる力を育みます。
- II 誰ひとり取り残されない教育環境を整えます。
- III 社会全体で子どもの健やかな成長を支えます。
- IV 誰もがいつまでも学び、豊かな心身を育む機会を充実します。
- V 歴史・文化をたいせつにし、ふるさとを愛する心を醸成します。

I 多様な学びを通じて、子どもたちの生きる力を育みます。

将来の予測が困難な時代において、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっています。「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むとともに、他者と協働しながら新たな価値を創造するといった、AIやロボットには代替されない力を培うほか、社会のグローバル化に対応する素養などを育成することが求められています。

子どもたちの育ちと学びのつながりの中で、多様な資質・能力を伸長するため、学年や校種を越えた連携を進めつつ、個々の状況に応じて、最適な学びを提供することが重要です。

○これからの時代を生き抜く資質・能力の育成

子ども一人ひとりの興味・関心や適性を踏まえ、創意工夫した教育活動を通じて、知識・技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力を育むとともに、多様な他者との協働的な学び、探究的な学び、情報活用能力の育成などを推進します。

また、道徳教育、人権教育、体験活動、文化芸術活動などの充実を図り、子どもたちの豊かな情操や道徳性、自他の生命の尊重、自己肯定感、より良い人間関係を築く力、他者を思いやる心を育みます。

さらに、学校体育や保健教育の充実、食育の推進などを通して、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育成するとともに、健康で安全な生活を送るための基礎を培います。

○グローバル人材の育成

国際理解教育の推進や外国語教育の充実などを通して、子どもたちの異文化理解の深化やコミュニケーション能力の向上を促進し、国際的な視野と感覚を持って主体的に行動できる力を育成します。

○育ちと学びのつながりの充実

保幼小の連携、小中一貫教育の充実、校種を越えたキャリア教育の充実など、子どもの個性や状況に応じた連続性のある教育を推進します。



姫路市立高校メッセ（探究活動発表）



留学生と市内高校生がグローバルをテーマに意見交換



幼小中高・地域による合同交通安全教室

Ⅱ 誰ひとり取り残されない教育環境を整えます。

いじめや不登校、心身の健康にかかる問題など、子どもたちの状況は多様化、複雑化しています。また、特別な支援を要する子どもが増加傾向にあるほか、さまざまな理由で十分に修学できなかった人などに対する学びの保障の必要性も高まっています。

年齢や障害、文化的・言語的背景、家庭環境などに関わらず、誰ひとり取り残されることなく、すべての人が可能性を発揮できる共生社会の実現に向けた教育の推進が求められています。

○一人ひとりに寄り添える体制の充実

医療及び福祉をはじめとする多様な機関と連携し、学校が抱える課題に組織的に対応する体制の充実を進めます。

また、学校における働き方改革や教職員研修の充実などを一体的に推進し、教職員が子ども一人ひとりとじっくり向き合う時間を確保するとともに、教育の質の向上に取り組みます。

○ともに学び合う環境づくり

家庭の事情などにより修学が困難な子どもへの経済的支援や学習支援など、教育の機会均等に向けた取組を進めます。

また、特別な支援を要する子どもたちに、自立と社会参加に向けたきめ細かな教育的支援を行うとともに、子どもたちの障害者理解を深める取組を進めます。

さらに、義務教育未修了の人や外国籍の人など、すべての人がもつ学ぶ権利が保障される教育環境の充実に取り組みます。



教職員研修



あかつき中学校(夜間中学)

Ⅲ 社会全体で子どもの健やかな成長を支えます。

共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域社会のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境は変化しています。

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、地域の多様な主体の協働により、社会全体で子どもたちの健やかな成長を支えていくとともに、子どもの声を聴き、その声をたいせつにし、子どもの視点に立って教育環境を整えることが重要です。

○社会全体で守り育てる体制の構築

学校、家庭、地域の連携を深め、また、NPO や企業など、さまざまな主体の参画を促進し、多様な人との協働による探究学習や、地域をフィールドとした特色ある教育活動に取り組むとともに、中学校の部活動の地域展開に向けた環境の整備を進めます。

また、保護者が不安や孤立感を抱くことなく子育てができるよう、家庭教育の支援を充実します。

さらに、子どもの安全・安心を見守る体制を整えるとともに、青少年の健全育成に取り組みます。

○「こどもまんなか」の学びの推進

子どもや若者、子育て世帯の意見を尊重し、施策に反映していけるよう、意見を述べやすい環境づくりに取り組むとともに、子どもたちの多様な社会参画を促進します。

また、子どもたちの育ちにとってより良い教育環境を形成するため、学校園の規模や配置の適正化に取り組めます。



「トライやる・ウィーク」での職業体験



高校生と姫路市議会との座談会

Ⅳ 誰もがいつまでも学び、豊かな心身を育む機会を充実します。

人生 100 年時代と言われる中、誰もが幸せや生きがいを感じながら、健康で充実した生活を送ることがより一層重視されています。

ライフステージに応じた多様な学習機会や、生涯にわたってスポーツや文化芸術に親しむ環境の充実が求められています。

○生涯にわたる豊かな学びの推進

子どもや若者、社会人、高齢者など、幅広い世代の人が年齢を問わず学び続けられる学習機会の充実に取り組みます。

また、大学などの高等教育機関との連携を進め、リカレント教育をはじめとする生涯学習の充実を促進します。

○スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成

誰もがスポーツの「する」「みる」「ささえる」価値を享受できるよう、身近で安全に取り組める環境づくりや、さまざまな大会やイベントの開催・誘致とのための施設の充実、スポーツ活動を支える人材の育成などに取り組みます。

また、すべての市民が、心豊かな人生を送ることができるよう、文化芸術イベントの開催・誘致や、多彩な文化芸術活動に取り組む機会を充実します。



市内大学による市民向け公開講座「オープンカレッジ」



ル・ボン国際音楽祭（書寫山圓教寺）



ひめじスーパーアリーナ（イメージ図）

V 歴史・文化をたいせつにし、ふるさとを愛する心を醸成します。

グローバル化する社会において、歴史・文化をたいせつに思い、それらを育んできたふるさとを愛するとともに、他者を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与することがますます重要となっています。

ふるさと姫路の歴史・文化や伝統を次世代に受け継いでいくとともに、平和への願いを未来へつないでいくことは、私たちの使命です。

○歴史・文化の継承

歴史・文化や、先人たちの生き方について学ぶ機会の充実や、地域の史跡や文化を伝承する活動の支援などを進め、ふるさとへの誇りと愛着を醸成します。

また、文化財の保存修理技術を継承する人材の育成や、調査研究の推進など、歴史・文化を守り伝える体制の充実に取り組みます。

さらに、伝統的な文化芸術への支援や、多様な若手芸術家の育成支援などに取り組み、伝統文化を継承し発展させるとともに、新たな文化芸術の創造を促進します。

○次世代に伝えていく平和への願い

「不戦の城」と称される姫路城や太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔などを有する本市は、先人から受け継いだ恒久平和への願いを未来に発信していくとともに、平和教育をはじめとするさまざまな学びを通じて、平和で民主的な社会を形成する人づくりに取り組みます。



灘のけんか祭り



姫路城漆喰塗り体験会



太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式

姫路市教育大綱



住むほどに
好きが深まる
姫のまち

姫路市ブランドメッセージ&ロゴ

発 行：姫路市 政策局 高等教育室

住 所：〒670-8501 姫路市安田四丁目 1 番地

T E L：079-221-2536

E-mail：koutou-kyo@city.himeji.lg.jp



姫路市 HP